



市長からの手紙

93 水害に対する備え

昨年の台風第19号では、川越市も大きな浸水被害が発生しました。

前回の「市長からの手紙」に書きましたように、台風第19号による避難勧告・避難指示の対象地域の人口は約21万人でした。川越市を三方から取り囲むように流れる入間川・小畔川・越辺川・荒川、さらには新河岸川を加えた全ての河川で氾濫の危険があり、避難勧告対象地域が極めて広範囲になりました。21万人という人数は、市内の避難所の全てを開設しても避難者全員を受け入れることは到底不可能な数です。

今回、荒川の氾濫は免れましたが、万一氾濫したら、被災家屋は市内だけでも千の単位になると予想されます。特に河川に近い所、ハザードマップで「家屋倒壊等はん濫想定区域」に指定されている所では、氾濫の場合、家屋が水流で倒壊・流失する危険があります。従って、区

域内に居住している方は、避難勧告・避難指示が発令された場合、できるだけ早く、区域外に避難する必要があります。一方、「家屋倒壊等はん濫想定区域」以外の浸水想定区域に居住されている方は、避難勧告や避難指示が発令が夜間になってしまった際には、強い風雨の中を避難することの危険を考慮し、2階などへ垂直避難するほうが危険性は少ないと言えます。

過去50年間、入間川、荒川などの大規模河川の氾濫は身近な問題ではありませんでした。しかし、昨年の台風第19号では、利根川を含む関東地方のかなりの数の大規模河川が氾濫危険水位に達するという異常事態でした。

地球温暖化に伴う異常気象が多くなっています。そのような状況を考えると、昨年の台風第19号と同様の事態がまたいつ来襲しないとも限りません。浸水想定区域、特に「家屋倒壊等はん濫想定区域」にお住まいの皆様におかれましては、大規模河川の氾濫が身近に迫っていることを踏まえ、自らの命を助けるために緊急の時にどのように行動・避難するのかを考え、決めておくことが重要であると考えます。

川越市長 川合善明

こんなこともやっています！
図書館の仕事 その5

中央図書館 Tel 222-0559

Fax 224-7822

ここが変わった！ 図書館ホームページ

昨年末にリニューアルした図書館ホームページ。デザインが大きく変わり、できることも増えました。

今回は、新しくなって便利になったことや、追加したことなどを少し紹介します。ぜひ利用してみてください。

■新着資料が検索しやすく

今までは、新着検索の結果をタイトル順でしか表示できませんでしたが、新しいホームページでは、出版年月順や著者名順などに並べ替えて表示することができるようになりました。

■子どもたちの疑問に答えます

「こどものページへ、図書館の疑問に答えるコーナー」図書館の「ひみつ」を新しく作りました。

「こしょかんにはいったい何冊くらいの本があるの？」などといった、子どもたちが図書館について知りたいことをまとめて掲載しています。新たな発見があるかもしれませんよ。



新設した「図書館のひみつ」